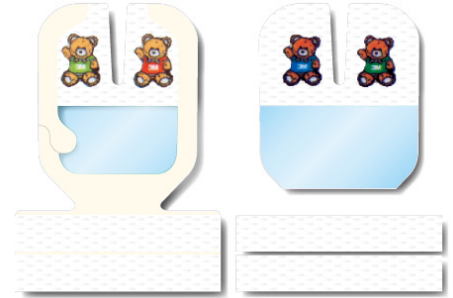


小児での末梢静脈カテーテルの固定方法

3M™ テガダーム™ I.V. トランスペアレントドレッシング 1610 を使用

3つのポイント

- 接続部分が切り込みから出るように位置を合わせる
- フィルムの上からカテーテル周囲をつまみ、よく密着させる
- フィルムを皮膚に密着させるように、内側から外側に向かって空気を押し出しながら貼付する



動画（使用方法）のキャプチャー画像を掲載した資料です。
動画の視聴とあわせてご活用ください。

動画 URL : <http://go.3M.com/medical/piv1610/> (再生時間 : 2分38秒)



貼り方



- 1** 付属の1本目固定用テープで、留置針を先に固定します。粘着面を上にして、留置針に当て、刺入部に向かって折り返すようにしてα字型に固定します。



- 2** 印刷のあるライナー紙を剥がし、粘着面を出します。



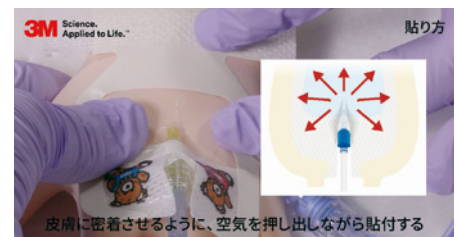
- 3** 粘着剤のない部分を持ち、



- 4** 接続部分が切り込みから出るように位置を合せます。



- 5** フィルムの上からカテーテル周囲をつまみ、よく密着させます。固定力を上げるために必ず実施してください。



- 6** フィルムを皮膚に密着させるように、内側から外側に向かって空気を押し出ししながら貼付します。



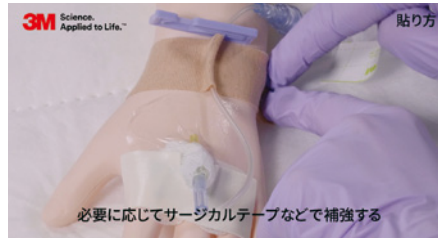
- 7** 切り込み部分をカテーテルの下で沿わせるように貼付します。無理に重ね合わせる必要はありません。



- 8** 周囲をしっかりと密着させ、全体を貼付した後、フィルム部分を押しえながら、ゆっくりとフレーム部分を剥がします。



- 9** 付属の2本目固定用テープでさらに上からα字型に固定します。



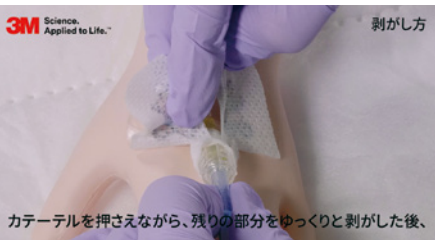
【参考】
医療関連機器圧迫創傷 (MDRPU) の対策として、接続部分に別売りの3M マイクロフォーム サージカルテープを工夫して使用することもできます。

10 必要に応じてご施設で使用しているサージカルテープやネット、シーネなどで補強してください。

剥がし方



1 補強のテープ類や固定用テープを剥がします。手袋をはめた指の腹でなでるようにすると剥がしやすくなります。



2 切り込み部分を片方ずつ、カテーテルと皮膚を押さえながら、ゆっくりと剥がします。



3 片手でカテーテルを押さえながら、残りの部分を約180度に折り返し、ゆっくりと剥がした後、



4 フィルム内に固定した付属テープを剥がします。

※ 本資料は使用方法の一例であり、本品およびカテーテル等の添付文書、取扱説明書をご確認の上、個々の患者背景及び状態を含めた医師の総合的なご判断のもとで、固定方法をご検討ください。

販売名:テガダーム I.V. トランスベアレントドレッシング 届出番号:13B1X10109000128

3M、テガダーム、マイクロフォームは、3M社の商標です。

2019年6月発行



スリーエム ジャパン株式会社
医療用製品事業部
<http://go.3M.com/medical-jp/>

Please Recycle. Printed in Japan.
© 3M 2019. All Rights Reserved.
CAPT-071-A

カスタマーコールセンター

製品のお問い合わせはナビダイヤルで

0570-011-321

8:45~17:15 / 月~金 (土日祝年末年始は除く)